


# SenoMark Ultra ブレスト マーカー

## 1. EnCor バイオプシープローブ タイプ

### (1) カタログ番号一覧 / 材質 / クリップ形状

カタログ番号	材質	クリップ形状
SMEC7R	PVA*ペレット付チタン合金クリップ	
SMEC10R	PVA*ペレット付チタン合金クリップ	
SMEC12R	PVA*ペレット付チタン合金クリップ	

\* PVA : ポリビニルアルコール

### (2) 使用方法（図1参照）

- 1) 生検による組織の採取が完了していることを確認する。バイオプシープローブのサンプルノッチ（開口部）に組織が残っていないことを確認する。
- 2) EnCor ENSPIREシステムのタッチスクリーン上に表示されている「Marker」タブをタッチする。
- 3) 本品の外装を点検し、包装に異常が見られないことを確認する。（本品は、包装を開封するまで滅菌状態である。）
- 4) 標準的な無菌操作で本品を包装から取り出し、破損がないことを確認する。
- 5) バイオプシープローブのティッシュトレイのタブからキャップを取り外す。
- 6) ティッシュトレイのタブのポートにチップガイド（B）を挿入する。チップガイドが完全に挿入されたことを確認する（図2）。
- 7) 本品からチッププロテクタ（A）を取り外す。
- 8) チップガイドを通して、バイオプシープローブ内にアプリケーターを挿入する。  
**注意：**ハンドル（C）がチップガイドを通過する際に多少の抵抗が感じられる場合がある。
- 9) アプリケーターがバイオプシープローブの先端付近に達した際に、必要であればアプリケーターを回転させ、開口部に達するまでハンドルを前進させ続ける。
- 10) アプリケーターを前進させ、黄色のインジケータ（D）をバイオプシープローブの赤色矢印の向きに合わせる（図3）。  
**注意：**適切にパッドを挿入するため、黄色のインジケータはバイオプシープローブに完全に密着させ、赤色矢印の向きに合うように装着すること。
- 11) プランジャ（E）を前進させてすべての組織マーカを速やかに体内に挿入する。プランジャがハンドルに達すると、組織マーカの挿入は完了する。  
**注意：**パッド挿入中にハンドルを引き抜かないこと。挿入が失敗するおそれがある。
- 12) タッチスクリーンのRotateボタンをタッチしてサンプルノッチ（開口部）を180°回転させ、挿入した組織マーカから離す。
- 13) アプリケーターをバイオプシープローブから取り外す。  
**注意：**アプリケーターを引き抜く際に抵抗を感じた場合は、アプリケーターをバイオプシープローブごと患者から抜去すること。アプリケーター先端部の破損につながるおそれがある。
- 14) バイオプシープローブの添付文書に従い、サンプルノッチ（開口部）を閉じ、バイオプシープローブを患者から取り外す。
- 15) アプリケーターを適切に廃棄する。
- 16) 最後に組織マーカの位置を画像装置で確認する。

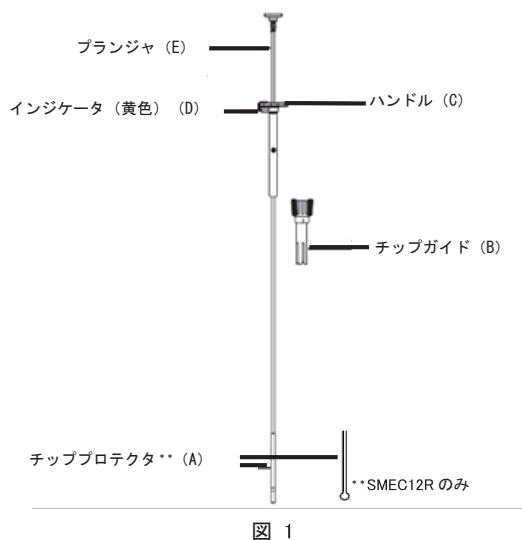


図 1

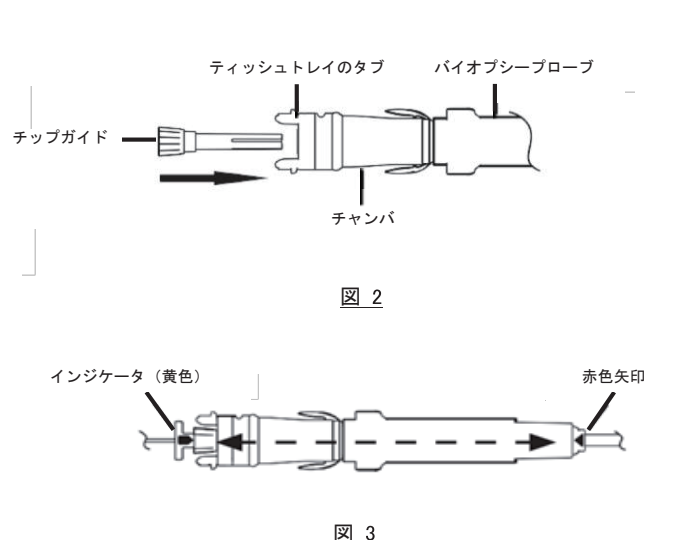



図 2

図 3

添付文書の記載内容を遵守の上、ご使用ください

## 2. マンモトーム タイプ

### (1) カタログ番号一覧 / 材質 / クリップ形状

カタログ番号	材質	クリップ形状
SMMA11R	PVA*ペレット付チタン合金クリップ	

\*PVA：ポリビニルアルコール

### (2) 使用方法 (図1参照)

- 1) 生検による組織の採取が完了していることを確認する。バイオプシープローブのサンプルノッチ (開口部) に組織が残っていないことを確認する。
- 2) 本品の外装を点検し、包装に異常が見られないことを確認する。(本品は、包装を開封するまで滅菌状態である。)
- 3) 標準的な無菌操作で本品を包装から取り出し、破損がないことを確認し、チッププロテクタ (D) を取り外す。
- 4) アプリケータをバイオプシープローブ内に挿入する。アプリケータがバイオプシープローブの開口部に達するまで前進させる。
- 5) 黄色のインジケータ (C) をバイオプシープローブの白色矢印の向きに合わせる (図2)。
- 6) プランジャ (A) を前進させてすべての組織マーカを速やかに体内に挿入する。プランジャがハンドル (B) に達すると、すべての組織マーカの挿入が完了する。  
*注意：パッド挿入中にハンドルを引き抜かないこと。挿入が失敗するおそれがある。*
- 7) バイオプシープローブのサンプルノッチ (開口部) を180°回転させ、挿入した組織マーカから離す。
- 8) アプリケータをバイオプシープローブから取り外す。引き抜く際に力をかけないこと。  
*注意：アプリケータを引き抜く際に抵抗を感じた場合は、アプリケータをバイオプシープローブごと患者から抜去すること。アプリケータ先端部の破損につながるおそれがある。*
- 9) バイオプシープローブ製造元の添付文書に従い、サンプルノッチ (開口部) を閉じ、バイオプシープローブを患者から取り外す。
- 10) アプリケータを適切に廃棄する。
- 11) 最後に組織マーカの位置を画像装置で確認する。

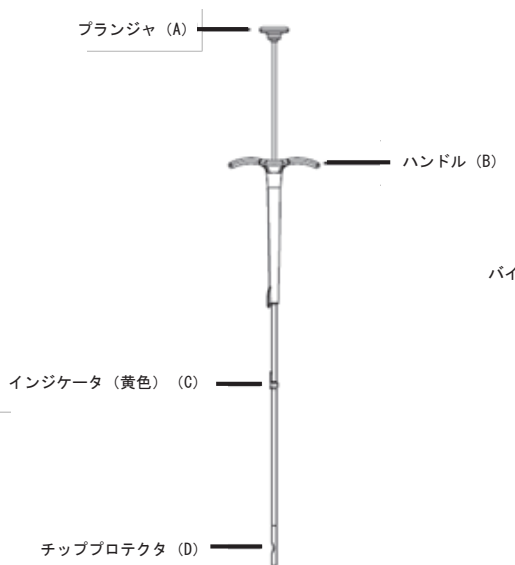


図 1

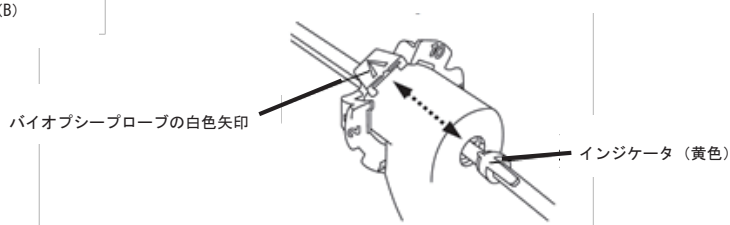


図 2

#### 【製造販売業者及び製造業者の名称及び住所等】

製造販売業者：株式会社メディコン  
大阪府大阪市中央区平野町2丁目5-8  
06-6203-6546  
外国製造業者：C. R. バード社  
C. R. Bard, Inc.  
外国製造所所在国：アメリカ合衆国

Bard、バード、SenoMark、セノマークは、C. R. バード社の登録商標です。  
マンモトームはデヴィコー メディカル プロダクツ インコーポレーテッドの登録商標です (2016年5月現在)。  
本書の著作権はC. R. バード社が保有しています。

 株式会社 **メディコン**

<http://www.medicon.co.jp>

添付文書の記載内容を遵守の上、ご使用ください

MA-24R1